

# 未来を見据えた看護への期待

～住み慣れた地域でその人らしく安心した暮らしを支えるために～

安心して自分らしい暮らしができるためには、医療、介護、介護予防、社会参加、住まい、生活等が包括的に対応した地域包括ケアシステムの構築が必要といわれており、看護職が果たす役割は非常に重要です。

これからの社会情勢の変化の中で、2040年に向け医療政策がどのように変化するかを学び、視野を広げるとともに、住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らすために果たすべき看護の役割や期待についてお話しいただきます。

## 日時

令和6年 **6月1日** (土)

13:30～15:30

午前中の総会后、引き続きご参加ください。

## 会場

鹿児島県自治会館  
(鹿児島市鴨池新町7番4号)

## 申し込み方法

事前申込み不要  
当日会場にて受付

## 対象者

鹿児島県看護協会会員

## 参加費

無料

## 問い合わせ先

鹿児島県看護協会 教育部  
電話 (099) 296-8117  
FAX (099) 256-8079  
メール: [kyouiku1@abelia.ocn.ne.jp](mailto:kyouiku1@abelia.ocn.ne.jp)  
ホームページ <https://k-kango.jp/>



聖路加国際大学公衆衛生大学院教授  
一般社団法人サステナヘルス代表理事  
日本医療政策機構 理事

小野崎 耕平先生

## プログラム

13時30分 開会あいさつ  
鹿児島県看護協会  
会長 八田 冷子

13時35分 特別講演  
「未来を見据えた看護への期待」  
～住み慣れた地域でその人らしく  
安心した暮らしを支えるために～  
小野崎 耕平 先生

15時05分 質疑応答  
15時20分 まとめ  
15時25分 閉会



かんごちゃん